

せいれい
聖隷よこはま

113号
2016.7

病院理念

私たちは、隣人愛の精神のもと、
安全で良質な医療を提供し、地域に貢献し続けます

<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>

ご自由にお持ちください



今号のテーマ：カモメにつられてTシャツが空に飛び立っていきました

診療科紹介	総合診療科、ドック・健診科
ご案内	横浜市健診について
特集	最新の血管造影装置 導入！
わたしの1日	資材課
建築 NEWS！	立体駐車場・急性期ケアユニット
最新トピックス	ほっと情報
診療科紹介	リウマチ・膠原病内科

ご挨拶

当院では、地域の皆さまの健康増進とともに安心して療養できる医療体制の充実のため、新しく総合診療科とドック・健診科を立ち上げることになり、2016年1月1日よりその2つの部門の責任者として赴任してまいりました平野進と申します。

当院は主として救急医療や急性期の診療を行う総合病院として地域医療を担っておりますが、高齢化社会が進んだことにより、療養や退院に向けての調整や、老々介護による疲弊などといった問題も深刻化しております。そのような問題に幅広く対応し、地域の皆さまやかかりつけ医の先生方と当院との架け橋となるため立ち上げられたのが**総合診療科**です。

また病気は予防や早期発見が大切です。当院にはこれまで専門に対応する部門がなかったことでご迷惑をお掛けしてまいりましたが、この度**ドック・健診科**を併せて立ち上げて、皆さまにスムーズに健康診断が受けられるようにいたしました。

どちらもまだ発足したばかりで、ご迷惑をお掛けする部分もございますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



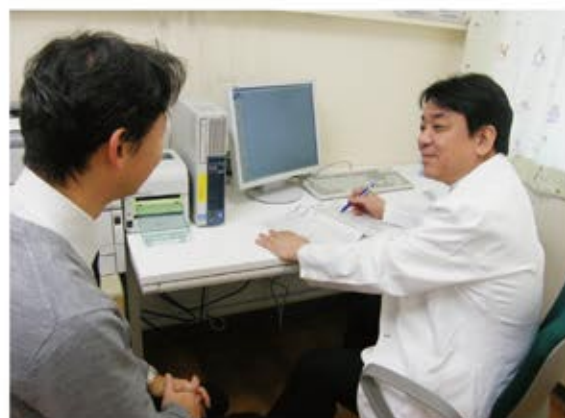
総合診療科、ドック・健診科
平野 進 先生

略歴

平成3年	北里大学医学部医学科卒業
同年	北里大学医学部外科に入局
平成23年	横浜船員保険病院 外科部長
平成24年	横浜船員保険病院 外科部長・健康管理科部長
平成26年	JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院 健康管理科部長

資格

日本外科学会専門医、日本医師会認定産業医
日本プライマリケア学会認定医・指導医
マンモグラフィ読影評価認定医など



総合診療科

当院では、2015年5月より地域包括ケア病棟を開設・稼働してまいりましたが、その機能強化のため総合診療科を開設いたしました。地域包括ケア病棟に要請のある患者さんは、複数の疾患を同時に有していることが多く、急性期治療が終了していることから、総合的な窓口として幅広い患者さんの受け入れができるよう当科が設立されました。

総合診療科では、地域医療連携室および医療相談室との連携を密にして、高次医療機関からの転院療養やリハビリなどの受け入れのほか、訪問診療医の先生方からのご紹介で在宅サポート入院（レスパイト入院）を受け入れております。

一般診療

生活習慣病や急な発熱などの良くある健康問題について幅広く対応する診療ができるように努力しております。

どの診療科にかかったら良いかわからない方やいくつかの問題点を同時にお悩みの方に対して総合的に診療して、専門的治療を要する疾患があった場合には各診療科へ紹介して当院でしっかりと治療ができるよう、患者さんと各専門科との間の架け橋となります。

転院療養

大学病院などの高次医療機関で手術や治療を行った後に、歩行障害や筋力低下、栄養障害などですぐには退院ができない状態の患者さんや、施設などへの退院調整が必要な患者さんに対して、継続リハビリや医療相談などを行う入院です。肺炎や心不全などの内科疾患の治療後安定期のほか、外科・整形外科などの術後の患者さんも安定期であれば受け入れが可能です。ある程度の術後処置を有する場合も対応が可能です。入院可能な期間は地域包括ケア病棟に転棟してから60日間までで、この間に退院に必要なリハビリや受け入れ調整を行います。

各医療機関の地域医療連携室や医療相談室を通じて当院医療相談室にお申し込みください。

在宅サポート入院 (レスパイト入院)

訪問診療・訪問看護を受けながら自宅で療養されている患者さんのご家族の介護疲れや社会的事情、急な入院などに対応するための療養入院です。認知症、胃瘻・腸瘻による栄養管理、人工肛門・人工膀胱、在宅酸素療法、寝たきり状態などの状況でも受け入れは可能です。入院をご希望される場合には訪問診療医の先生を通じて地域連携室にご連絡ください。

ドック・健診科

2016年1月にドック・健診科を発足し、準備期間を経て4月から木曜を除く月～土曜の朝8時から各種健康診断を行える体制を作りました。完全予約制で、原則午前中には自宅や会社に戻れる健診体制としております。6月からは横浜市国保健診に加え全国健康保険協会（協会けんぽ）の健診にも対応できるよう準備を進めております。

総合病院で健診を行う最大のメリットは、異常が見つかった場合には迅速に同一施設内で円滑に各部門の専門医師に紹介して精査や治療が行えるという点であります。状況によっては当日に専門科診療依頼を出して精査を開始することもいたします。

ドック・健診科での健診は全て午前中の予約制とさせていただきます。精密検査の判定があった場合は、ご連絡いただければ院内各専門科の診療が受けられるよう手配いたします。居住地の問題で他院への紹介をご希望される場合には紹介状を作成いたします。健診結果は郵送でお知らせいたしますが、健診科医師からの説明を希望される場合にはスタッフまでご連絡ください。

横浜市国民健康保険健康診査

75歳以上の方の横浜市健康診査は無料です。40～74歳の方の特定健康診査の自己負担額は約1200円です。ご希望される方は当院会計左手の担当までお声掛け頂くか、電話にてお申し込みください。

協会けんぽ健康診査

主として中小企業が加入する全国健康保険協会（協会けんぽ）における、健康診断です。本人の生活習慣病健診、ご家族の特定健康診査のほか、各種オプション検査に対応いたします。自己負担額や内容については会社ごとに異なりますので予約時にご相談ください。

横浜市がん検診 乳がん、胃がん、大腸がん、 前立腺がん、C型肝炎

予約状況で胃がん検診は内視鏡での検査も可能です。乳がん検診で精査となった場合、ご希望の方は当院乳腺外来で乳腺外科専門医による診察予約をお取りいたします。

雇入時・就学時健康診断

項目によっては作成に数日かかる場合がありますが、一般的な診断書は原則即日交付いたします。

各種ワクチン接種

インフルエンザや肺炎球菌のワクチン接種などを行います。

オプション検査

当院では非常に高性能なCT装置やMRI装置を有しており、常勤の放射線科専門医がいるばかりでなく、常勤の消化器内視鏡専門医も複数おり、多彩なオプション検査に対応が可能です。予約時にご相談ください。

また5ccの採血検査で一度に複数種類のがんのリスクを各癌種ごとに判定するアミノインデックスがんスクリーニング（AICS）検査も実施が可能で、高リスク判定時の保険診療による精査にも対応可能です。

ごあんない ～横浜市健診について～

毎年、横浜市国民健康保険特定健康診査は、横浜市より対象者へ2016年5月下旬から受診券と問診票が発送されます。また、横浜市乳がん検診については、2016年6月頃から対象者へ無料クーポン券が発送されます。

現在、ご予約を承っておりますので、ご受診されたことがない方はこの機会にご受診されてみてはいかがでしょうか。なお、定期的にご受診されている方も是非ご受診されることをお勧めいたします。

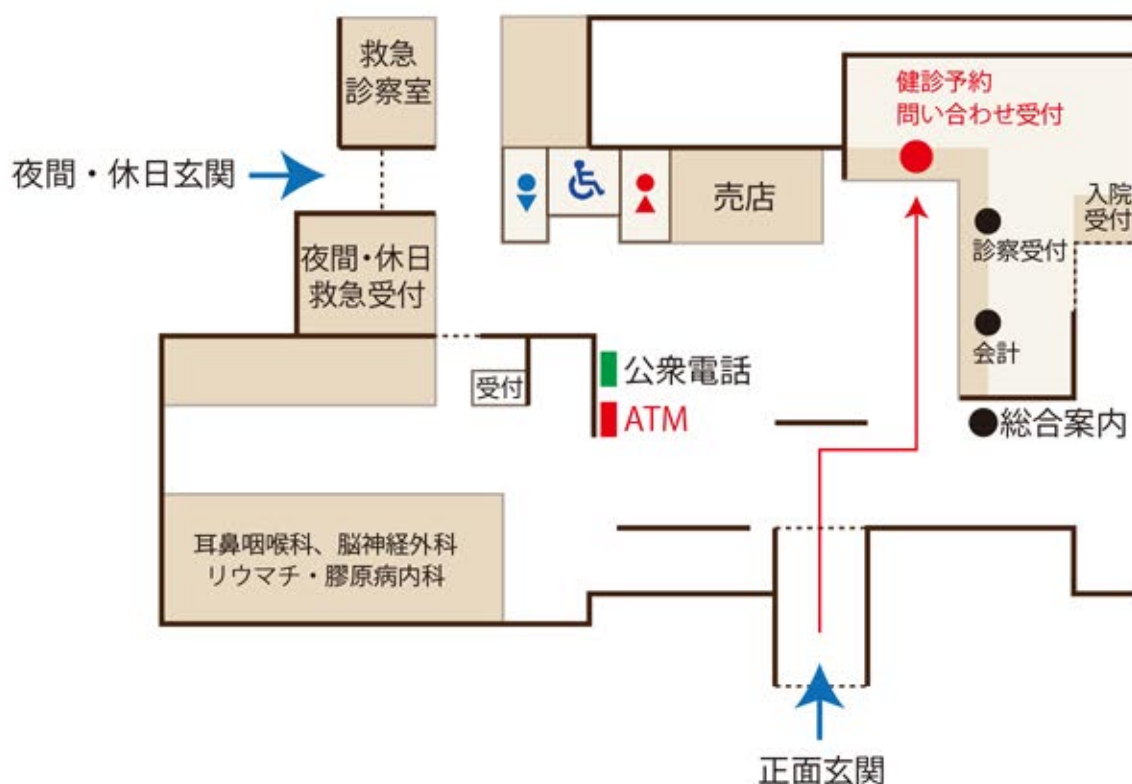
また、横浜市在住で75歳以上の方は横浜市健康診査が無料でご受診でき、70歳以上の方は横浜市がん検診が無料でご受診できます。

ご予約方法は、右記をご覧ください。

ご予約方法

窓口でのご予約
 受付窓口：健診予約・問い合わせ受付
 受付日時：月曜日～金曜日
 8：30～17：00
 土曜日
 8：30～12：15

お電話でのご予約
 受付日時：月曜日～金曜日
 9：00～12：00
 14：00～17：00
 予約専用番号：045-715-3035



最新の血管撮影装置 導入！

最先端の医療を提供するために

医療の現場において血管撮影装置の担う役割はとて大きく、その件数は年々増加しています。さまざまな症例に対応できるようになった半面、より高度な技術が求められることで検査時間は長時間化し、被ばく量も増加しているという背景がありました。そのため、血管撮影装置は操作しやすく、高画質、そして低被ばくを実現した装置であることが望まれます。

新しい血管撮影装置の導入

当院では、2016年春にフィリップス社製の最新血管撮影装置「Allura Clarity FD20/15」と「Allura Clarity FD10」の二台を導入いたしました。

この装置は「フラットパネルディテクタ」という X 線をデジタル処理で画像化することのできる機能を搭載しており、診断や治療においてより高画質な画像を提供することができるようになりました。

また「AlluraClarity FD20/15」には X 線管球が二つ搭載されており、一回で二方向の透視、撮影が行えます。さまざまな角度からの撮影が可能で検査時間の短縮、被ばく量の低減、使用する造影剤も少なくなり、患者さんの負担を軽減することができるようになりました。



Allura Clarity FD10



AlluraClarity FD20/15

今までの装置との違い

new!



図 1：最新血管撮影装置



図 2：従来血管撮影装置

1 被ばく量の低減

最新の技術により高精細な画像をより低被ばくで得ることができます。従来装置と比較し、無駄な被ばくを 90% 程度低減することができるようになりました。さらに、X 線管球が二つ搭載されている「パイプラインシステム」の導入により、被ばく量だけでなく造影剤量の低減にもつながっています。

new!

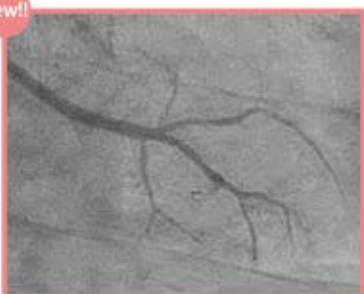


図 3：拡大画像 最新血管撮影装置

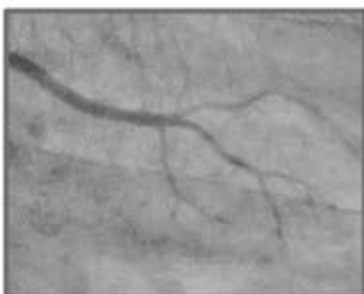


図 4：拡大画像 従来血管撮影装置

2 画質の向上

従来の装置に比べ画質は大幅に向上し血管は鮮明に表示され、より正確で安全な治療を提供できるようになりました。(図 1~4)

3 58 インチ大画面ディスプレイシステム

大型モニターを搭載により画像を大きく表示することが可能となり、より正確な診断・治療が可能となりました。また院内のシステムと連携することができる為、大型モニターには患者さんの情報を表示することが可能となり、診断や治療中にさまざまな情報を得ることができるようになりました。

4 最先端治療を支援するさまざまな機能の搭載

血管を三次元的に表現し診断をアシストしてくれるシステムや血管撮影室内にて従来は行えなかったCT撮影が可能となるなど、最先端の機能が搭載されています。これにより、これまで以上に安全で確実な診断と治療が行えます。



new!!
図 5：頸動脈造影画像



new!!
図 6：拡大画像



new!!
図 7：コーンビームCT画像



new!!
図 8：脳動脈瘤 血管撮影画像



new!!
図 9：3D画像

通常の血管撮影では表示されなかった治療後の部分も CT 撮影機能により少ない造影剤量で画像を得ることができます。

3D 画像により赤丸で囲ってある動脈瘤を様々な角度から評価することができます。

スタッフからのひとこと

今回導入した血管撮影装置により、多くの患者さんの負担を軽減し診断・治療を行うことが可能となりました。

当院ではこの二台の血管撮影装置をフルに活用し、患者さんにとって安全で質の高い診断、治療を提供できるようにスタッフ一同取り組んでいます。



密着!

資材課の1日

事務職

角田 龍次

資材課とは？

院内のあらゆる【物】について関係する予算・購入・在庫管理業務を行います。
院内、院外を問わず、様々な方々と連携し業務を進めています。



8:30 一日の始まり

資材課、施設課、建築準備室と同室のため合同で朝礼を行います。院内行事やスケジュールの共有をします。



8:45 物流カードの回収

病棟で使用する材料には専用の【物流カード】が貼られています。使用後は専用の袋に入れ、資材課がカードを回収します。



9:00 物品の払出準備

1日1回、院内すべての請求を取りまとめます。倉庫から払出する物、業者へ注文する物で仕分け、物流が滞る事なく作業します。



11:00 使用期限の点検

倉庫の衛生材料、医療機器などは滅菌処理されている物があります。適切に使用できる様、滅菌期限、使用期限を点検します。



11:30 カテーテル検査伝票の確認

使用された商品の包装紙と使用伝票を照合します。材料の物品名、使用数量を把握し医療情報管理課へ伝票提出します。



12:00 休憩

お気に入りの【カップ焼きそば】です。午後に備えてフードファイト中?からあげ弁当とセットです。



13:00 注文品の検品・納品作業

当院から注文した物が正しい型式・数量か?納品先は正しいか?、検査(検品)します。納品書と実物を見て読み上げます。



14:00 購入の価値分析

請求内容を確認します。買わなくて済む物なのか?費用がどの位かかるのかを試算をしたり、物品の質や価格を比較し、より安全で質のよい物を検討します。



16:30 外来診察室への払出

診察時間帯を考慮して配達します。外来で使用された材料は、病棟と同様、専用の袋に入れ、資材課がカードを回収します。



17:50 帰宅

建築NEWS!

立体駐車場工事

新外来棟建築に伴い、2016年5月より立体駐車場の工事を開始いたしました。

工事中の駐車場エリアを確保するため、既存の建物を解体し仮設の外来駐車場を設置しました。

また、新たに送迎ロータリー周辺に高齢の方・妊娠中の方・歩行に制限を受ける方が優先的にご利用いただける**思いやり駐車場**を新設し、車いすの方や送迎の方にとって利用しやすい環境となりました。

立体駐車場は、2017年2月に完成予定です。現在、仮設の外来

駐車場収容台数は70台ですが、この立体駐車場の完成時には140台に増加し、渋滞緩和に貢献が期待できます。



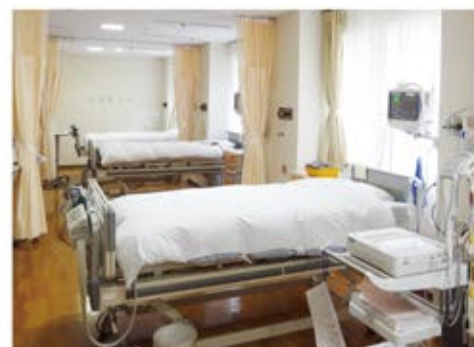
思いやり駐車場の
ロゴマーク

- ・ 高齢の方
 - ・ 妊娠中の方
 - ・ 歩行に制限を受ける方
- 思いやり駐車場をご利用ください。

急性期ケアユニット

西1病棟の一部で2016年6月1日より本格稼働した急性期ケアユニットは、症状悪化によって重篤化した患者さん・経過観察を必要とする患者さんが優先的に入院する事ができるようになりました。

看護師が24時間患者さんのケアができる環境を整え患者さんを重篤化させないために、救急処置と集中治療に精通した医師・看護師をはじめとしたチームにより安全で質の高い医療を提供いたします。



工事期間につきましては、当院を利用されている方々ならびに近隣住民の皆様にはご迷惑をお掛けする事になりますが、ご理解・ご協力のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2 「か(蚊)ゆい」だけじゃない!?

検査課 臨床検査技師 西野 由希子



今年も蚊が猛威を振るう時期がきました!

今回は、蚊が媒介する病気を紹介します。日本には 100 種類以上も蚊が存在し、その内、一部の蚊が病気を媒介します。そもそも蚊に刺されてかゆくなるのは、吸血する時に注入する麻酔成分や血を吸いやすくする成分を含んだ唾液がアレルギー反応を起こすためです。

この時、蚊の唾液中に病原菌が含まれている場合は人間に感染させるおそれがあります。蚊が媒介する病気は、デング熱・ジカ熱・マラリア・日本脳炎など様々ですが、いずれも感染して 2 日～ 14 日後に発熱・頭痛・関節痛などの症状が出ます。

マラリア以外は特効薬がないため、蚊に刺されないように明るい色の長袖を着て肌の露出を抑えたり、虫よけスプレーを使用したりして予防しましょう。



3 栄養ぎっしりトマトを食べよう

栄養課 管理栄養士 松田 直美

「トマトが赤くなると医者が青くなる」といわれ、トマトはとても栄養価が高い食品です。

βカロテンや赤い色の素であるリコピンを多く含み、どちらも体の細胞の老化を防ぐはたらきがあります。冷やしたトマトをそのままかじってももちろんおいしいのですが、βカロテンは油と一緒にとると吸収がよくなりますので、スライストマトにみじん切りの玉ねぎをのせ、オリーブオイルを少しかけたトマトサラダをおかずの一品として加えてみてはいかがでしょうか。基本的に夏野菜は体を冷やす作用があり、しかも火を使わなくてもよいので暑い夏にはピッタリです。冷え症の方はスープなどにして加熱することで解消できます。

夏になると水分の摂取量が増えて胃酸が薄まり食欲不振を招きやすいのですが、胃液の分泌を促進して消化を助けてくれるクエン酸も含まれています。

トマトを食べて夏を乗り切りましょう!



ほっと情報

Information

このページは、健康や医療にまつわる最新情報、その他興味深いホットな情報をお届けします。知って得するお話です。

1 日光浴のすすめ

看護相談室 精神看護専門看護師 西 典子



緑あざやかな季節となりましたが、強い日差しや紫外線を気にして、ついつい過剰な日焼け予防をしている方も多いのではありませんか。

私たちのこころの安定に深く関わっているものに、セロトニンという脳から分泌される物質があります。これが不足すると自律神経が興奮状態になり、イライラや不安を抑えきれなくなります。その結果、うつ病などを引き起こしてしまうと考えられています。これを予防し、心身をリラックスした状態に保つためには、日光浴が有効なんです! また、日光を直接肌に浴びることでビタミン D の生成も行われます。最近ではビタミン D はうつ病の予防改善や骨粗鬆症の予防、免疫力向上にも効果的だという説も。

心身の健康のために、ぜひ日頃から気持ち良いと感じる“ほどよい”日光浴をお勧めいたします。

5 チーム一丸となって!!

臨床工学室 臨床工学技士 花岡 典代

秦野市にある病院を模擬して作られた研修施設で緊急対応時の研修会がありました。施設内の模擬心臓カテーテル室で、臨床現場で起こりうる緊急症例の場面を想定して、医師・看護師・放射線技師・臨床工学技士でチームを作り、様々な緊急時対応を想定したシミュレーションを行いました。シミュレーション後には、医師からの解説を交えながら、全体で振り返りを行いました。また心臓の血管モデルを使用して、医師が行っている心臓カテーテル治療の手技を実際に体験する事ができ、治療に対する理解を深める良い機会になりました。このような研修に参加することで、カテーテル室に関わる医療従事者全員がいつでも安全かつ迅速に緊急対応出来るようにチーム一丸となって取り組んでいます。



7 すごいぞ！新血管撮影装置！

放射線課 診療放射線技師 松井 俊樹



皆さん、階段の上り下りやちょっとした運動をただけで息が切れたり、胸が痛くなったりすることはありませんか？

このような症状の裏には、心筋梗塞や、狭心症など重大な心臓に関係する病気が隠れていることがあります。

そのような心臓の病気に苦しむ患者さんに対応するため、当院では心臓血管センター内科医師が 24 時間 365 日救急対応を行っています。

今回、心臓の病気の治療に不可欠な血管撮影装置も今まで 1 台運用であったものが新型装置の 2 台体制となりました。

新しい装置では、画像が鮮明で血管の状態を細かく描出できますが被ばく量が大幅に低減されています。

また、CT や MRI で撮影した画像を転送し治療に活かす機能や 3D 撮影機能など診断と治療を向上させることのできる機能が搭載されています。

これらの機能を最大限に用いて、より安全で質の高い医療を提供したいと思います。

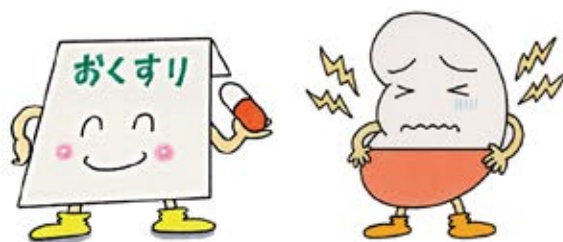
詳しくは特集のページをご覧ください。

4 薬と腎臓

薬剤課 薬剤師 渡邊 恵子

腎臓が何をしているところかご存知ですか？腎臓は不要な物を取り除く（ろ過する）大切な臓器です。腎臓が悪くなると、ろ過する機能が下がるため、不要な物やお薬が排泄されず体内に溜まりやすくなる場合があります。

腎臓の働きが弱っている場合には、お薬の量をあらかじめ減らしたり、より腎臓に負担をかけない薬を選ぶことで、安全に治療することができます。また、市販薬にも注意が必要な薬があります。ご自身の飲まれているお薬について気になることがございましたら、医師・薬剤師にご相談下さい。



6 ロコモの予防

リハビリテーション室 言語聴覚士 前田 広士

今回は、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の予防や改善のための運動をいくつか紹介していきます。健康な状態を維持するためには、毎日動かして適度な負荷をかけることが大切です。膝や腰が痛いからと動かないでいると機能低下を助長することにつながってしまいます。年齢や重症度に合わせて運動を行っていきましょう。ただし、痛みや筋力低下が悪化傾向にある場合などは、まず医療機関を受診してみてください。

①開眼片脚立ち 床につかない程度に片足をあげます（転倒しないように机など何かつかまる物がある場所で行います）。

左右各 1 分程度 × 3 回

②スクワット（いすから立上がる動作でも構いません）

5 ～ 6 回 × 3 回

③踵上げ（両足で立った状態で。何かに軽くつかまっても構いません）

10 ～ 20 回 × 2 ～ 3 回



無理をせずに続けていきましょう！

診療科紹介 リウマチ・膠原病内科



リウマチ専門医が新たに1人加わり、
リウマチ・膠原病の患者さんの
入院加療が可能になりました。



リウマチ・膠原病内科
医長 伊東 宏先生

● 膠原病とは？

私たちの体には、ウイルスや細菌などから自分を守る免疫機構が備わっています。ところが何らかの原因で、本来自己防衛をするはずの免疫機構が、自己の組織や臓器を攻撃してしまうことにより、慢性的な炎症と進行性の臓器障害を引き起こします。

若年者から高齢者まで様々な年齢層で発症し、女性に多い疾患です。

膠原病を疑う症状には以下のようなものがあります。

- 抗生剤などで改善しない発熱
- 徐々に悪化する手足のしびれ
- 理由もなく疲れやすい、全身がだるい
- 皮膚症状（湿疹・紅斑・紫斑、皮膚がこわばる）
- 原因不明の体重減少
- レイノー現象（寒くなると指先が白や紫色に変わる）
- 起床時に強い関節痛、筋肉痛、腰背部痛
- 目や口の中が乾く

2016年1月にリウマチ・膠原病センターが発足し、山田 秀裕センター長と花岡 洋成医師（ともに日本リウマチ学会専門医・指導医）が外来診療を行って来ました。

4月からは、新たに伊東 宏医師（常勤）が仲間に加わり、入院を要するリウマチ・膠原病の患者さんも安心して診療を受けられる環境が整いました。

入院は、決して重症の患者さんに限定したのではなく、リウマチ性疾患に対し新規に生物学的製剤を開始する場合や、注射指導や感染予防法の学習を目的とした短期入院も可能です。分からないことや不安なことがあれば、主治医だけでなく看護師や薬剤師など診療チーム全員で対応しますので、お気軽にご相談ください。

膠原病の診断や治療は、現在飛躍的に進歩しています。
当院では、患者さんの状態に適した最先端の膠原病治療を提供いたします。
上記の様な症状でお困りの方・心配に思っている方は、
お気軽に当院の専門医にご相談ください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
聖隷横浜病院
SEIREI YOKOHAMA HOSPITAL

広報誌「聖隷よこはま」通巻第113号 2016年7月1日発行
発行責任者 / 院長 林 泰広
〒240-8521 横浜市保土ヶ谷区岩井町 215
TEL.045-715-3111 FAX.045-715-3387
<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>

